事務事業事後評価シート[平成28年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部福祉課			■担当係	障がい福祉	障がい福祉係		
■評価事業名称	わかば病棟いこいの家運営負担金							
■事業開始年度	平成18年度							
■評価事業コード	040300 - 056 ■会計区分 一般会計							
■総合計画での ■位 置 づ け	■政策 01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり							
	■基本施策 02 高齢者や障がい者などの自立した生活への支援							
	■施策	■施策 04 障がい者の社会参加と自立への支援						
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業) ■政策・業務区分 政策							
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの							
■法令等の名称								
■関連計画の名称	北上市障がい者プラン'15							
■事 業 の目的と概要	独立行政法人国立病院機構花巻病院わかば病棟の施設入所者の家族、近親者等の宿 泊及び施設への奉仕者の休憩の場所を提供するため、わかば病棟併設宿泊施設いこい の家の運営費の一部を構成市町村が負担する。							

2. 細事業の活動実績情報

細事業 細事業コード 名称	事業の対象	平成 28 年度事業計画	平成 28 年度事業量実績
01 わかば病棟 いこいの家運 営負担金	花巻病院わか ば病棟いこい の家協力会	宿泊利用者 56人 休憩等利用者 15人	宿泊利用者 41人 休憩等利用者 15人

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

		正 +00 左 広	亚子 。左帝	元 犬 00 左 帝	/++ + / /
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	備考
直接事業費	14	14	14	14	加盟市町村(14市町村)が 定額の負担金を支出してい
人 件 費	229	77	74	75	ক
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	243	91	88	89	

4. 評価指標等の状況

指口	音標 指標名 一ド	25年度	26年度	27年度	28年度	指標の説明
01	親の会やボランティア団体の 施設利用者数	61人	71人	66人	56人	いこいの家施設利用者数
03	親の会やボランティア団体の 宿泊施設利用者数	46人	56人	51人	41人	いこいの家宿泊施設利用 者数
04	施設利用者一人当たりコスト	3.98千円	1.28千円	1.33千円	1.58千円	

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ) 達成状況の分析 問題点・課題等 ■目標達成状況 利用者数は安定している。施設の運営に寄与し ている。 ● A. 順調 ○ B. 概ね順調 C. 遅れている -1. 直接的な受益者の範囲 --2. 事業廃止の影響 -3. 国・県・民間との競合関係の有無 -○ 不特定多数に及ぶ ○ 大きな不利益やリスクが生じる ○ 類似の事業はない ○ 特定されるが多数に及ぶ ● ある程度の不利益やリスクが生じる ● 類似の事業はあるが競合はない ● 特定少数に限定される ○ 類似の事業があり競合する ○ 不利益やリスクは小さい 4. 事業へのニーズの変化 -5. 施策の改善需要度(市民意識調査) --6. 施策の優先度(市民意識調査) ◉ 順位が高い ○ ニーズが高まっている ● 順位が高い ● ニーズは変わらない (順位が中程度 (順位が中程度 ○ ニーズが低下している又は合致しない ○ 順位が低い ○ 順位が低い -7. 他市町村に比較しての優位性 --8. 実施主体の代替性 -9. 経済性・効率性の向上・ ○ 先進的またはユニークな事業である ● 民間委託等の拡充は難しい ● 今以上の効率化や改善は難しい ● 他と同程度の事業である ○ 民間委託等の拡充が十分に可能 ○ 効率化や改善を図ることは十分に可能

○ 全部委託や実施主体の移行が可能

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

○ 遅れている事業である

加盟市町村が定額負担をしており、今後も継続して支援を行う。

○ 効率化や改善の余地が大きい